

公益財団法人新聞通信調査会 主催シンポジウム 日中関係の針路とメディアの役割

基調講演



丹羽 宇一郎 (にわ うちろう)

前中華人民共和国駐劔特命全権大使

1939年愛知県出身。62年名古屋大学法学部卒業。同年伊藤忠商事入社。98年同社社長、2004年会長に就任。10年6月～12年12月中華人民共和国駐劔特命全権大使。06年10月～08年10月経済財政諮問会議民間議員、07年4月～10年3月地方分権改革推進委員会委員長。主な著書に『人は仕事で磨かれる』(文春文庫)、『汗出せ、知恵出せ、もっと働け!』(文藝春秋)、『新・ニッポン開国論』(日経BP)、『負けてたまるか! 若者のための仕事論』(朝日新聞出版)、『北京烈日』(文藝春秋)



朱鋒 (Zhu Feng)

北京大学国際関係学院教授、北京大学国際戦略研究センター副所長

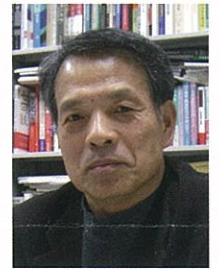
1964年江蘇省出身。81年北京大學国際関係学院入学。91年北京大學で国際関係学博士号取得。専門は国際安全理論、東アジア地域の安全保障、米中の戦略と外交関係、核不拡散問題など。米国のハーバード大学フェアバンクスセンター、戦略国際問題研究所(CSIS)などの訪問教授を歴任。主な著作に、秋山昌広元防衛事務次官との共著『日中安全保障・防衛交流の歴史』(亜紀書房、2011年)など

コーディネーター

高井 潔司 (たかい きよし)

桜美林大学リベラルアーツ学群教授
北海道大学名誉教授

1948年兵庫県出身。72年東京外国語大学中国語学科卒業。同年読売新聞社入社、テヘラン、上海、北京特派員、論説委員を歴任し北海道大学教授を経て現職。主な著作『新聞ジャーナリズム論』(桜美林大学北東アジア総合研究所、2013年)『中国文化強国宣言批判』(蒼蒼社、11年)、訳書に『中国における言論の自由』(孫旭培著、13年)



共産主義青年団機関紙「中国青年報」の陳小川(Chen Xiao Chuan) 総編集も登壇することが急ぎよ決まりました。

パネリスト



佐藤 千歳

(さとう ちとせ)

北海商科大学商学部准教授(現代中国論、中国社会と宗教)

千葉県出身。2000年東京大学教養学部地域文化研究学科卒業。10年北海道新聞北京支局長。13年北海商科大学商学部准教授。著書:『インターネットと中国共産党』(講談社、2009年)



中川 潔

(なかがわ きよし)

一般社団法人共同通信社アジア室長

1957年神奈川県出身。80年京都大学卒、83年社団法人共同通信社入社、2001年中国総局長、07年外信部長、09年よりアジア室長。共著に『日中の壁』



于 徳清

(Yu Deqing)

新京報(北京市)評論部副編集長

1976年山東省出身。94年済南大学中国語文学部に入学。山東師範大学中国語文学部で文学修士。「新浪網」評論部などのニュースメディアを経て新京報に入社。



史 哲

(Shi Zhe)

「南方週末」(広州市)ニュース部門統括主幹兼評論部主幹

1974年陝西省出身。97年北京大學国際政治学部学士学位取得。97年～2003年に、北京大學国際関係学院国際政治専攻、博士号取得。03年7月から南方週末社所属。

日 時 : 2013年11月12日(火)
13:00 開場 13:30～17:00

会 場 : 経団連ホール
〒100-0004 千代田区大手町1-3-2

主 催 : 公益財団法人新聞通信調査会

URL : <http://www.chosakai.gr.jp/index2.html>

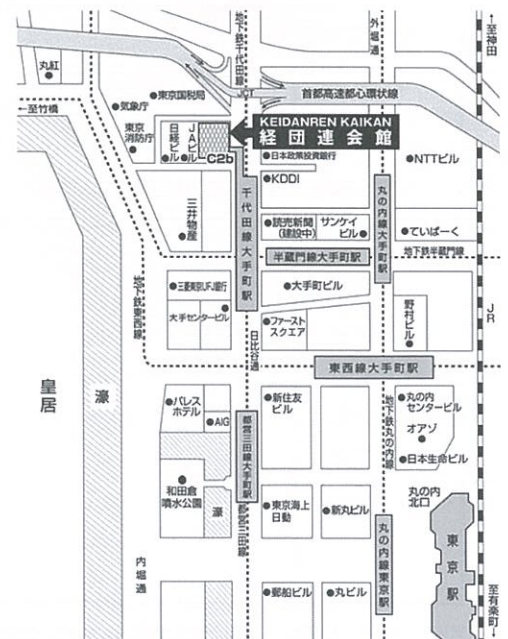
定 員 : 300名 参加多数の場合は抽選となります。
(当選者には聴講券を10月下旬より郵送致します。)

参加費 : 無料(要申し込み)

備 考 : 当日は同時通訳がつきます。

申し込み : 葉書、FAXまたはホームページ上のサイトからお申し込みください。(裏面参照)

申し込み締切 : 10月25日(金)



【葉書】

郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・性別・年齢・日中の連絡先電話番号・メールアドレス(あれば)・所属(同)を記入の上、郵送ください。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-5-16 (晩翠ビル内)
 公益財団法人新聞通信調査会「11/12 シンポジウム事務局」宛

【FAX】

下記の用紙に必要事項を記入の上、FAX：03-6252-6037 へ送信してください。

パソコンからのお申し込みは下記新聞通信調査会ホームページ

【URL】 <http://www.chosakai.gr.jp/index2.html> よりお申し込み頂けます。

申し込み締切：10月25日(金)

※取得した個人情報はイベント開催実務にのみ使用いたします。なお、法令および規程に基づき厳重に管理いたします。
 ※都合により登壇者が変更になる可能性がございます。ご了承ください。

FAX申込書

『日中関係の針路とメディアの役割』

公益財団法人新聞通信調査会

「11/12 シンポジウム事務局」行

FAX：03-6252-6037

(ふりがな)		男・女
お名前		年齢
ご住所	〒□□□-□□□□	
日中の ご連絡先	— —	
メール アドレス	@	
ご所属		
当日の 質問が あれば お書き 下さい		

問い合わせ先：公益財団法人新聞通信調査会 TEL：03-3593-1081